

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他登録／地学総合実験 (Geological Experiments (General))		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	地学に関する室内実験や野外実習		
担当者名 (Instructor)	清家 一馬(SEIKE KAZUMA)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	1単位(1 Credit)
科目ナンバリング (Course Number)	SCI2120	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	<p>教職課程登録者優先 数学科は随意科目、物理・化学・生命理学科の2015年度以前入学者は随意科目スケジュール等は7月上旬までに掲載する。</p> <p>★本科目は、その他登録科目である。履修希望者はR Guide「その他登録一覧」に記載の指示に従い、所定の期間に申し込むこと。 申請期間①：2022年7月1日(金)9:00～7月15日(金)17:00 申請期間②：2022年8月23日(火)9:00～9月2日(金)16:00</p>		

授業の目標 (Course Objectives)

地形図および地質図が判読できるようになり、実習から地学の各現象の理解を深める。地学の各テーマを教育・指導するための知識と博物館・教材活用方法の習得、地質巡検の引率技術を身につけられるよう努力して欲しい。

This course aims to give students the skills of reading topographic and geological maps, and understanding various geological phenomena through experimental practice. Students will put in effort to learn how to teach various topics related to geology, as well as how to use teaching materials and contents of a natural history museum, practically. This course will also teach techniques for leading geological excursion.

授業の内容 (Course Contents)

地学をより深く理解するためには、野外での実習や対象を観察することが不可欠である。地学総合実験(秋学期)では、地学で行われる代表的な実習・実験と野外での地質巡検を実施する。授業は主にPPTまたは配布する資料による教室内での講義・実習形式で実施するが、屋外または別施設での実習作業もある。野外巡検の日程に関しては相談の上で決定する。毎回授業で提出する実習課題および巡検レポートにより評価する。地学概説(春学期)の履修などで基礎的知識を既に有したうえでの履修が望ましい。なお、履修に関する注意事項をその他の項目に記しておく。

In order to gain a deep understanding about geology, practical experiments and geological excursions are indispensable things. In this course, students will conduct various representative experiments related to earth science and a field trip. The course will be conducted in the classroom in lecture/practice format using Power Point presentations and various handouts, and will be also practiced hands-on training outdoors or at another location. Students will be evaluated by the practice exercises they will turn in every lecture, as well as the geological observing report about field trip. It is optimal for you to take this course only if they already took course of Introduction to Geology (spring semester). Precautions regarding registering for this course should be noted along with the other items.

授業計画 (Course Schedule)

1. オリエンテーション(第1回前半)
2. 地形図を読む(第1回後半)
3. 地質図の判読(第2回前半)
4. 地質図学実習(第2回後半)
5. ルートマップ作成実習①(第3回前半)
6. ルートマップ作成実習②(第3回後半)
7. 地質巡検①(日時と巡検地未定)(第4回前半)
8. 地質巡検②(日時と巡検地未定)(第4回後半)
9. 気象と天気(第5回前半)
10. 天気図作成(第5回後半)
11. 化石の観察(第6回前半)
12. 化石の計測(第6回後半)
13. 博物館見学会①(第7回前半)
14. 博物館見学会②(第7回後半)

授業時間外(予習・復習等)の学習 (Study Required Outside of Class)

専門用語については辞書を引くなどで積極的に確認してほしい。巡検レポートの執筆に際しては、多数の文献を各自で検索・熟

読する必要がある。

成績評価方法・基準 (Evaluation)

通常講義の課題(6課題)(60%)/巡検レポート(40%)

毎回の授業で提出する課題 10%×6回(計 60%)、巡検レポートを 40%の割合で評価する。未提出課題は評価点 0 となるため、欠席者は後日提出を受け付ける。なお、巡検レポートの評価割合が大きいので必ず提出すること。

テキスト(Textbooks)

1. 浜島書店(編)、2021、『ニューステージ地学図表—地学基礎+地学対応』、浜島書店 (ISBN:9784834340120)

参考文献(Readings)

1. 坂幸恭、1993、『地質調査と地質図』、朝倉書店 (ISBN:4254162340)

その他、授業中に適宜紹介する。

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

通常の講義日スケジュールは 8 月中に公開される(巡検日程は初回講義で相談)。

画版、色鉛筆、定規、分度器を各自で用意すること。実習内容に関しては、コロナ情勢も踏まえて、履修者数や社会情勢で変更する可能性がある。講義日程は天候等の都合により変更することがある。地質巡検を実施する予定である(三浦半島、長瀬、ないし葛生が候補地)。それぞれの目的地までの交通費は自己負担となる(池袋駅から往復で概ね 2300 円前後)。全日かけて実施するため日程は履修者の都合を考慮して後日決定(10月~12月中の日曜日や祝日、大学の休講日など)するが、天候等の事情により直前の日程の変更ややむを得ず中止する可能性がある。また、当日巡検へ参加出来ない場合は、代替巡検に参加しないし、各自で都合の良い日時に実習に向いて巡検レポートを執筆すること。博物館見学を実施する場合の交通費も自己負担となる(片道数百円)。日程の都合がついた場合には12月初旬に開催される池袋ミネラルショーの見学会を自由参加として実施する予定である。

注意事項(Notice)